



図-104 変成岩（東白川郡古殿町）

と考えられています。

また、変成岩は一般に鉱物の粒がほぼ平行にならんでいて、全体的にしま模様が見られます。これを片理と呼んでいます。顕微鏡でみても、図-105のように、石英や、角セン石、ウンモなどが一方向に、きれいに並んでいるのが見られます。

しかし、前に述べた接触変成岩の場合には、その方向性は、ほとんど見られません。

このように変成岩は、中国地方から九州にかけてかなり多く見られ、しかも、特に古い岩石で、日本列島の土台を作っているものなのです。



図-105 変成岩の顕微鏡写真(×20)